



広野ゆうじの

コッコちゃん通信



議 | 会 | 報 | 告 |

発行者／広野ゆうじ事務所 雲南市木次町寺領275番地 TEL 0854-42-2524 FAX 0854-42-3214

雲南市議会議員選挙

初 当 選



(石飛選管委員長から当選証書を授与)

去る2024（令和6）年11月17日に執行された雲南市議会議員一般選挙で、多くの皆様からご支援、ご支持をいただき、雲南市議会議員として議会に送りだしていただきました。

これからは、市民の皆様により添い、又、皆様の声を市政に届け、雲南市の持続的発展、又、「笑顔輝く 幸せな雲南」となるよう精進してまいりますので、今後とも、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、今回の選挙におきまして、私は、次の公約を掲げて、選挙戦を戦ってまいりました。

① 農林業振興

- ・もうける農業、楽しむ農業の推進
- ・鳥獣害対策の再構築
- ・山林の有効利用、整備の推進
- ・生活者を意識した農林業の推進

② 産業振興

- ・地場の商工業の活性化推進
- ・事業承継問題の解決に向けた取り組み
- ・誘致企業の招致の推進
- ・安定した雇用の確保

③ 多様な人財の確保

- ・イターン、Uターン人財確保の推進
- ・リモートワーク環境の整備

④ 教育振興

- ・外国人も生活しやすい環境の整備
- ・都市部に劣らない教育環境の整備
- ・子供たちの多様な能力を生かす教育の推進
- ・不登校問題解決への取り組み

⑤ 福祉の充実

- ・障がい者の生活しやすい環境の整備
- ・高齢者が生き生き暮らせる環境の整備
- ・介護環境整備による福祉の充実

⑥ 安全安心な環境整備

- ・地域医療の充実
- ・周辺の高度医療機関との連携強化
- ・災害に強い環境の整備
- ・災害復旧体制の整備

⑦ 自然保護の推進

- ・コウノトリ、さくら等に象徴される自然と人が共生できる社会の構築
- ・多様な生き物が暮らせる環境整備
- ・脱炭素社会推進への取り組み

初心を忘れず、議員活動を通じて、一つ一つ、これらの公約を実現すべく努力してまいります。



産業建設常任委員会

に所属

2024（令和6）年11月28日に令和6年度第2回臨時会が開かれ、議長、副議長の選挙、常任委員の選任、特別委員会の設置と委員の選任、令和6年度雲南市一般会計補正予算（第3号）の専決処分承認等の議事が行われました。

私は、産業建設常任委員（産業観光部・上下水道局・農林振興部・建設部・農業委員会所管）に選任され、その副委員長に就くこととなりました。これまでの、農業及び、会社経営の経験を生かし頑張つてまいります。

その他、議会広報広聴特別委員会（議会の広報・広聴に関する調査研究）、予算審査特別委員会（予算案について審査）、雲南広域連合議会議員（介護保険・下水道・消防等）に選任、選出されました。

又、令和6年度雲南市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認については、令和6年10月に行われた衆議院議員選挙費用として、4,300万円が追加され、総額351億8900万円が承認されました。

令和6年度
雲南市議会定例会

令和6年度雲南市議会定例会
が、12月9日から15日間の会期
で開催されました。市長施政方
針、一般質問の他、条例7件、
一般事件50件、令和6年度補正
予算11件、報告1件、陳情1件
が上程され、慎重に審議した結
果、原案通り可決・承認・採択
しました。

令和6年度 一般会計 補正予算（第4号）

補正額 15億6,900万円増額 補正後総額 367億5,800万円

令和6年度 一般会計 補正予算（第5号）

補正額 1億9,154万円 補正後総額 369億4,954万円

主な補正予算 公園施設整備事業 6,573万円（公園施設の修繕、解体等）
地域総合整備貸付金事業 11億4,000万円（ホテル建設支援）
大東高等学校特別支援事業 418万円（寄宿舎整備）
生活基盤施設耐震化等交付金事業 3,300万円（上水道耐震化）

陳情 「さくらおろち湖湖畔道路歩道の整備に関する陳情」

広野 ゆうじの
一般質問



一般質問
アーカイブ



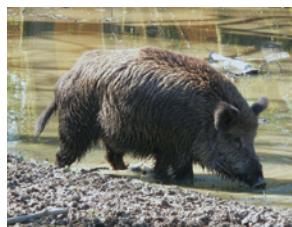
質問
1

鳥獣被害対策について

問 鳥獣被害対策には総合的な
対策が必要で、その1つの、捕
獲対策について、特にイノシシ
については、年間何頭ぐらいが
必要か。また、サル被害が多く
なっており、その対策をどう考
えているか。侵入防止対策等は、
自己流で行われていることが多
く、効果があまり充分ではない
と思われる。積極的な、教育訓練、
研修が必要ではないか。国の鳥
獣被害防止総合対策交付金事業
があるが、充分利用しているか。
鳥根県中山間地域研究センター
に専門家がいますが、そこの連
携は、どうしているか。

答 鳥獣被害対策の3本柱であ
る、個体群管理、侵入防止対策、
生息環境管理について様々な対
策を行っている。イノシシの捕
獲については、年間2千頭位が
適正と考えている。サル対策に
ついては、侵入防止対策や捕獲、
追い払いなど行っているが、大

変苦慮してい
る。研修、学
習会等は、地
域等と連携し
て行っている
が、より積極
的に行ってい
く。交付金事業については、充
分利用していると考えている。
中山間地域研究センターとの連
携は、鹿については行っている
が、今後は、もっと連携を密に
しながら対策を打っていきたい。



質問
2

空き家対策について

問 使用目的のない空き家は、
令和5年の数値で、1660戸
となっており、推計値を上回る
ペースで増えている。連坦地と
農村部、山間部の傾向と対策及
び、重点区域の対策、空き家発
生抑制対策はどうしているか。
固定資産税納税通知書により、
全戸に空き家対策について啓発
する必要があると思うがどうか。
又、空き家の中の片付けについ
て、もっと積極的な対策が打て
ないか。

答 連坦地や山間部といった立
地を区分した分析は行っていない。
重点区域は設けていない。
空き家の所有者に適切な対応を
お願いしている。空き家の所有
者に啓発パンフレット等を送付

している。納
税通知書と一
緒に送付する
ことについて
は、内部で協
議する。空き
家の片付けに
ついては、新年度予算で方策を
考える。

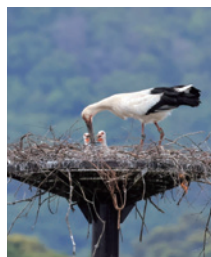


質問
3

コウノトリとの
共生について

問 コウノトリが定着できる環
境を広げてゆく事が重要。その
対策は。今ある4塔の巣塔を、
民有地も含め、さらなる設置が
必要と考えるがどうか。市民へ
の情報発信がもっと必要と考
えるがどうか。コウノトリとい
う自然の資産を利用して、経済効
果をもっと上げるべきだと思
うがどうか。

答 コウノトリと共生するまち
づくりの実現に向け着実に取り
組みを進める。生息しやすい環
境を作るため、田んぼの作り方
や、ビオトープも含めて取り組
んでゆく。巣塔については、民
有地も含めて柔軟に対応してい
く。情報発信については、学習
会等積極的
に取り組ん
でいく。経
済効果は、
少し時間が



かかるが、徐々に生み出して
きたい。
最後に
「やってる感ではなく、結果
を出していただきたい。」と強く
要請しました。

編集後記



約40年間続けてきた養鶏経
営から引退し、新たな世界に
踏み出しました。生まれて初
めて、穏やかな新年を迎えら
れたように思います。

さて、能登半島地震から1
年が経過し、夏の猛暑、短い
秋、この冬は東日本で豪雪被
害も出ています。異常気象や
数々の災害を想定外ではな
く、想定内として考えていか
なければならぬ時代になっ
たかもしれません。

次の世代に、幸せな世界を
作っていく上でも、現在の政
治はしっかりと取り組んでい
く必要があります。

新年を迎え、幸せな社会が
作れる様、皆様と一緒に、自
主自立の精神をもつて、頑
張っていきます。

廣野 祐二